

令和7年習志野市議会第2回定例会

(会期：令和7年6月2日～6月30日)

一般質問通告表

習志野市議会

目 次

発言 順位	質 問 日	質 問 者 (所属会派)	質 問 予定時間	頁
1	6月11日(水)	金子友之 議員 (真政会)	60分	1
2		中央重則 議員 (環境みらい)	80分	1
3		宮内一夫 議員 (市民の会)	80分	2
4		丸山秀雄 議員 (公明党)	60分	2
5	6月12日(木)	布施孝一 議員 (公明党)	60分	3
6		市角雄幸 議員 (環境みらい)	60分	3
7		三代川雄哉 議員 (真政会)	60分	4
8		金井宏志 議員 (公明党)	60分	4
9	6月13日(金)	斉藤賢治 議員 (真政会)	60分	5
10		鴨哲登志 議員 (民意と歩む会)	70分	5
11		木村孝 議員 (民意と歩む会)	60分	6
12		田中慶子 議員 (公明党)	60分	6
13	6月16日(月)	寺川貴隆 議員 (環境みらい)	70分	7
14		大宮こうた 議員 (明日の習志野)	80分	7
15		荒原ちえみ 議員 (日本共産党)	80分	8
16		平川博文 議員 (都市政策研究会)	80分	9
17	6月17日(火)	佐野正人 議員 (民意と歩む会)	60分	11
18		谷岡隆 議員 (日本共産党)	70分	12
19		佐藤まり 議員 (市民の会)	70分	13
20		関根洋幸 議員 (元気な習志野をつくる会)	60分	13
21	6月18日(水)	入沢としゆき 議員 (日本共産党)	80分	14

○ 金子友之議員

- 1 自治体DXについて
 - (1) 業務用FAXの利用状況について
 - (2) 市営駐輪場のキャッシュレス化について
- 2 こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律への対応について
 - (1) 本市の取組について
- 3 カスタマーハラスメント対策について
- 4 災害廃棄物仮置場の設置・運営について
- 5 習志野高校の入学選抜における志願者数について

○ 中央重則議員

- 1 津田沼駅南口開発の今後の見通しについて
- 2 旧庁舎跡地活用問題について
- 3 教育施設問題について
 - (1) 学校整備及び運営の基本的な方針について
 - (2) 学校施設（空き教室等）の開放について
- 4 環境問題について
 - (1) 新清掃工場建設の取組状況について
 - (2) ごみ集積所のルールについて
- 5 不登校の親のケアについて
- 6 こども園等の現状について

○ 宮 内 一 夫 議 員

- 1 津田沼駅南口再開発事業について
- 2 溶融メタルなど資源物の売却について

○ 丸 山 秀 雄 議 員

- 1 環境施策について
 - (1) 新清掃工場建設の取組状況について
- 2 熱中症対策について
 - (1) 本市の取組について
- 3 孤独・孤立対策について
 - (1) 孤独・孤立対策の本市の取組状況について
- 4 若者向け施策について
 - (1) 現状の取組について

○ 布 施 孝 一 議 員

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 防災対策について
 - (2) 高齢者施策について
 - (3) 動物愛護施策について
- 2 地域問題について
 - (1) 本大久保保育所跡地の活用について
- 3 教育環境の整備について
 - (1) 第3次学校施設再生計画について

○ 市 角 雄 幸 議 員

- 1 公共建築物再生計画について
 - (1) 第2次公共建築物再生計画の進捗について
 - (2) 第3次公共建築物再生計画の策定方針について
- 2 住生活基本計画について
 - (1) マンション再生に係る支援について
 - (2) 市営住宅の整備・再生について

○ 三代川 雄 哉 議員

- 1 習志野市の防災について
 - (1) 習志野市の防災訓練について
- 2 習志野dXスタイルについて
- 3 習志野市の創業支援について
 - (1) 現状について
- 4 市民活動団体への支援について
 - (1) 市民参加型補助金の概要と交付実績、課題について

○ 金 井 宏 志 議員

- 1 特別支援教育
 - (1) 教員の配置と免許保有について
 - (2) 教育支援委員会と発達・知能検査について
- 2 公共建築物再生計画
 - (1) 2次計画の達成状況と3次計画の見通しについて
 - (2) (仮称)新総合教育センターについて
- 3 住生活基本計画
 - (1) 次期計画策定の進捗状況について
 - (2) マンション管理適正化推進計画について

○ 齊 藤 賢 治 議 員

- 1 都市計画道路3・3・3号線について
 - (1) 現在の進捗状況と今後の見通しについて
- 2 津田沼駅南口地区の市街地再開発事業について

○ 鴨 哲 登 志 議 員

- 1 習志野市のまちづくり
 - (1) 地域の文化を育てよう 藤崎図書館の復活
 - ① 住民が集まり交流する公共施設が必要であり今後の展望について伺う
- 2 公文書公開について
- 3 新清掃工場について
- 4 福祉問題について
 - (1) 生活保護行政の改善及び、関連する問題について

○ 木 村 孝 議員

- 1 JR津田沼駅南口の再開発の中断について
 - (1) モリシアの商業施設を利用再開するのか
 - (2) 習志野文化ホールは利用再開をするのか
 - (3) 習志野文化ホールのネーミングライツについて
- 2 JR津田沼駅北口の「津田沼パルコA館」跡地について
- 3 JR津田沼駅のホームドア設置について
- 4 秋津サッカー場の再整備について
 - (1) 人工芝の入札について
 - (2) ネーミングライツについて
- 5 不登校児童へ対応する「学びの多様化学校」について
- 6 放課後児童会（学童保育）について

○ 田 中 慶 子 議員

- 1 就学前の療育体制について
 - (1) 特別支援児の在籍状況と療育の実態について
 - (2) あじさい療育支援センターの利用状況について
- 2 不登校対策について
 - (1) 学びの多様化学校の設置概要と現況
 - (2) 適応指導教室「フレンドあいあい」とのすみ分けについて
- 3 教育委員会における会計年度任用職員について
 - (1) 職種と人数について
 - (2) 待遇と処遇について

○ 寺 川 貴 隆 議員

- 1 習志野市環境基本計画について
- 2 秋津サッカー場グラウンド人工芝化整備工事について
- 3 JR津田沼駅南口市街地再開発事業について
- 4 習志野市旧庁舎跡地活用事業について
- 5 こども誰でも通園制度について

○ 大 宮 こうた 議員

- 1 街づくりの基本的な方向性について
 - (1) 次期基本計画の検討状況
 - ① 習志野市の魅力を最大限高めるための重点事業とその考え方
- 2 水辺とともにある豊かな街について
 - (1) 次期「緑の基本計画」の策定状況
 - ① 環境審議会で策定中の案として示された「海とふれあえるレクリエーション空間の創出」に関する考え方、同計画の案における公園の整備予定に関する考え方
- 3 子どもにやさしい街について
 - (1) 憲法の定める「義務教育の無償」原則の真の実現
 - ① 学校徴収金にテスト、ワーク、ドリルの費用を含める妥当性
 - (2) 特別支援学校中学部・高等部の市内設置
 - ① 令和8年度に予定されている県による中間評価に向けて、県との協議状況、評価に向けた準備状況
- 4 住民が主役となる街について
 - (1) 新清掃工場建設事業の進捗
 - ① 2032年4月の稼働を目指す新清掃工場の附帯機能に関する検討状況

○ 荒 原 ち え み 議 員

- 1 実籾小学校横の（通称）いろは坂の改善について
 - (1) ベビーカーやシルバーカーの歩行者が安全に通れる対策について
- 2 不登校児童生徒の居場所づくりの充実を
 - (1) 校内教育支援センターの設置の経緯と現状について
 - (2) 学びの多様化学校の現状について
- 3 準要保護制度を必要な家庭が利用できるよう求める
 - (1) 準要保護制度を受けやすくする改善を求める
 - (2) 準要保護の受給基準の引き上げを求める
- 4 資格確認書の配布について
 - (1) 資格確認書を対象者全員に配布することを求める
- 5 バス停へのベンチ設置について
 - (1) 実籾駅北口通りのバス停へのベンチ設置を求める
- 6 加齢性難聴者への補聴器購入時助成の進捗状況について
 - (1) 令和7年第1回定例会以降の進捗状況について
- 7 全国・千葉県に広がっている学校給食費の無償化について
 - (1) 本市の小中学校給食費無償化を求める

○ 平 川 博 文 議 員

- 1 宮本泰介市長&荒木勇前市長の人事権を考える。懲役1年執行猶予3年の市役所公務員が普通退職している。懲戒免職処分ではない。なぜなのか。最近、懲戒免職処分の市役所公務員がいる。どんな理由なのか。処分までの手続を知りたい
- 2 ガス・水道・下水道事業の企業局の企業管理者人事が行われた。また、一般財団法人習志野市開発公社の理事長人事も行われた。誰が、どんな根拠で、人事権を行使しているのか。なぜ、議会の同意を必要としない人事なのか。知りたい
- 3 市長及び副市長を補佐する特別職の米山則行前危機管理監が宮本泰介習志野市長に対して、損害賠償請求を提訴した。前代未聞の市役所幹部公務員による請求事件で、金196万6,905円を支払えという訴状が千葉地方裁判所へ提訴されてきた。その後、令和6年12月2日付で東京高等裁判所から控訴状の送達を受けている。東京高裁の判決理由と結果は、どうであったのか
- 4 下水道課で虚偽の契約書を作成していた。令和5年11月18日の朝日新聞の記事によると、2021年11月に公益内部通報があった。市役所公務員の処分対象者は、7人に上る。市議会に遠藤元総務部長から提出された内部通報報告書は、報告書とは言えない。事実の概要をはじめ、大部分が空白で非公開になっている。この事件で退職を余儀なくされた市役所公務員は、存在するのか。竹田前総務部長は、令和6年12月11日の答弁で、答弁できないとしている。なぜ、答弁できないのか
- 5 習志野市長・市議会議員選挙の開票結果に、重大な疑念を抱いてきた。平成19年6月27日。千葉検察審査会（司法機関）から、習志野市の開票作業に当たる公務員の態度や姿勢は明らかにルール違反を犯していると指摘され、強く反省を求められてきた。選挙に対する認識の甘さを猛省し、今後、襟を正した改善を市民に示さなければ、市民の市政に対する不信感は払拭されないとの指摘を受けてきた。さらに、平成18年10月6日のテレビ朝日報道で、ビデオ映像解析の専門家の東京理科大学の半谷教授は、市民に対する重大な裏切り行為があると断定した。このとき、不正開票選挙の実行犯の市役所公務員に対する社会的制裁がなかった。習志野市役所内部で、全てもみ消された。内部調査報告書は、作成されていない。近年の不正開票選挙の手口として、期日前投票箱の鍵をひそかに事前に開けて、投票用紙の差し替えが香川県高松市、宮城県仙台市、滋賀県甲賀市などで連続して発覚し、市役所公務員の総務部長をはじめ、選挙管理委員会事務局長などの逮捕者が出ている。全国的傾向がある。投票箱をひそかに開けて、投票用紙をすり替える。実行者は選挙候補者ではなく市役所公務員。候補者個人の選挙違反と比べてはるかに巧妙、悪質と言える。習志野市の期日前投票箱は、どうなっているのか。千葉県警や習志野警察署の警察公務員が本気で習志野市役所公務員による期日前投票箱の投票用紙の窃盗を阻止するためには、何が有効なのか。落選している者が当選し、当選している者が落選しているのではないか
- 6 前弁護士市長の発言を会議録で見ると、「この土地をどうだ、ああだとすると、すぐ利権があるんじゃないかとか、僕らが言うとなぐにそう言われる。僕の不徳のいたすところでございますけどね」と発言してきた。財源確保を理由に売却したのに、71億と56億の入札価格で、56億の「三菱地所

レジデンス・三井不動産レジデンシャル・野村不動産」に安値で売却した。令和2年7月JR津田沼駅前44階建て、津田沼ザ・タワーが完成した。759戸のうち、特別販売の事業協力者住戸についての存否が再三にわたって不明瞭になっている。なぜ、電話ではなく、文書での回答を事業者から求めないのか。令和6年、令和7年、建設費が高騰している。野村不動産によるJR津田沼駅前再開発の延期、JR幕張本郷駅前鷺沼土地区画整理事業費はどうなるのか

7 平成23年11月7日、荒木勇前市長の平成9年当時のJR津田沼駅南口26億円の土地取引の件で東京地検特捜部に刑事告発した。時効により、不起訴処分となった。指定暴力団関係者から買い取られた未登記の3,000坪の土地は、現在、谷津小学校の前の公園用地の半分になっている。最近、この指定暴力団関係者が、町内谷津3丁目に住んでいることが分かった。前市長が株式会社新平和代表取締役社長に、土地売買代金として、9億9,356万8,000円を即金で支払ってきた。経過利息を加えた土地代金の返済合計金額は、31億3,380万3,476円に肥大化した。なぜ、26年の長期返済期間になったのか。なぜ、土地買収資金が、企業局のガス・水道会計の現金預金から流用されていたのか

○ 佐 野 正 人 議 員

- 1 津田沼駅南口地区再開発事業の延期について
- 2 習志野市基本構想（案）について
- 3 （通称）習志野市ポイ捨て防止条例施行後の状況について

○ 谷 岡 隆 議員

1 市長の政治姿勢について

- (1) 津田沼駅南口地区の市街地再開発事業と習志野文化ホールについて、野村不動産に振り回された約10年間を、宮本市長はどのように総括または中間総括をしているか
- (2) 野村不動産任せでは、習志野文化ホール再建設とパイプオルガン利用再開は十数年先、数十年先になるのではないか。野村不動産から公費負担のさらなる増額を要求されるのではないか。習志野市が土地の所有権を持たない複合施設の建て替え時の困難を将来世代に引き継いで良いのか。これらの問題を踏まえ、津田沼駅南口への再建設の見通しが立たない今、次善の策として、市有地である旧庁舎跡地を再建設候補地として確保することを宮本市長は決断するべきと考える。見解を伺う

2 子どもの権利条約の視点で学童保育（放課後児童会）を考える

- (1) 習志野市には受入可能人数が80人以上となっている児童会が多くあるが、厚生労働省の放課後児童クラブ運営指針には「子ども集団の規模は、おおむね40人以下とする」と明記されている。空き教室などが確保できる児童会から順次、40人以下に分割していくことを求める
- (2) 申請方法の周知や申請書の配布の方法を変えた「令和7年度4月当初入会」の継続申請において、子どもたちの4月入会が危うくなる事例が多数出たことについて、経過と今後の対策を伺う

3 特別支援教育に役立つ心理検査について

- (1) 前定例会で教育長から「教育支援委員会における判断材料の一つとしては、田中ビネー式知能検査を基本とし、その上で真にWISC検査の必要な児童・生徒に対しては、心理士等有資格者によるWISC検査を行う」との答弁があった。自閉症・情緒障がい特別支援学級やLD・ADHD等通級指導教室の支援・指導において、子どもたちの特性をはかるWISC検査は不可欠と考えるが、その必要性について教育長の見解を伺う

4 いじめ防止対策推進法の「重大事態」への対処について

- (1) 習志野市初のいじめ問題再調査委員会の調査審議はどうなっているか

5 熱中症予防対策について

- (1) 屋根等のない駅前広場の清掃作業といった炎天下での屋外作業に携わる市職員や委託先労働者の熱中症予防のために空調服（ファンつき作業服）を準備することを求める
- (2) 生活保護世帯や低所得世帯を対象にしたエアコン購入費助成制度の創設を求める

○ 佐 藤 ま り 議 員

1 ごみ問題について

(1) 家庭系ごみの処理の有料化以外に、市としてできることについて伺う

2 JR津田沼駅南口再開発事業の停滞に伴う、市民活動への影響について

(1) 旧モリシア津田沼の再活用について伺う

3 放課後児童会等の募集方法について

(1) その周知方法について伺う

4 会計年度任用職員について

(1) 労働条件について伺う

○ 関 根 洋 幸 議 員

1 JR津田沼駅南口再開発事業について

(1) 現状、課題、今後の取組について

2 習志野市第2次学校施設再生計画について

(1) 現状と今後の取組について

3 次期基本構想について

(1) 現状と今後の取組について

○ 入 沢 としゆき 議員

- 1 次期習志野市基本構想・基本計画の策定について
- 2 陸上自衛隊習志野駐屯地の有機フッ素化合物（PFAS）について
 - (1) PFOA含有泡消火剤の使用実績等について
 - (2) 習志野駐屯地内の水質調査等の実施について
- 3 旧屋敷公民館跡地活用について
- 4 旧庁舎跡地活用について
- 5 新清掃工場建設について
 - (1) 事業方式について
 - (2) ごみの減量について
 - (3) 「手数料を含めた価格による指定ごみ袋の販売」について
- 6 新湾岸道路の概略ルート・構造案について
- 7 鷺沼特定土地区画整理事業について
 - (1) 「新しいまちのネーミング」について
 - (2) 「過大規模」の鷺沼小学校建設について